（№　L-2023-003）

CI-NET LiteS実装規約改善要求書（CHANGE REQUEST）（案）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発信者記入欄 | 事務局記入欄 | | | | | |
| 発信日　　2023年10月11日 | 受信日　　　　年　　　月　　　日 | | | | | |
| 会社名 ①大林組  ②清水建設  ③前田建設工業 | 反映対象バージョン：実装規約 | | | | | |
| 企業識別コード ①211010  ②213040  ③218080 | Ver. | 2 | . | 2 | ad. | 1 |
| 部署名　　 ①オーク情報システム  ②デジタル戦略推進室情報シ  ステム部  ③情報システム統合センタ― | 事務局処理記入欄 | | | | | |
| 担当者名 ①槇　翔平  ②齋藤　崇志  ③芳谷　辰巳 |
| 連絡先 TEL:―  FAX:― |
| 件名　出来高金額、請求金額算定方法のB方式における[1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合の[1362]今回請求金額計調整額の取り扱い | | | | | | |

◎ 改善要求内容（問題点、改善案、理由について詳しくお書き下さい）

【要求内容】

1. 改訂対象

・出来高金額、請求金額算定方法のB方式のうち、 [1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合において、 [1362]今回請求金額計調整額は0円固定とするよう記載の見直しを要望。

1. 問題点（背景）
2. 出来高金額、請求金額算定方法のB方式のうち、 [1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合において、[1396]消費税額調整額の算出式は、以下の通り記載されている。（別紙1参照）

|  |
| --- |
| [1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合  ＜[1094]調整後契約金額計と[1103]今回迄累積請求金額計が一致しない　時＞  b.打切精算： [1396]消費税額調整額=（[1103]今回迄累積請求金額計×[1004]消費税率×0.01小数点以下切捨て）－ ([1393]前回迄累積消費税額計+[1395]消費税額(調整前)） |

1. しかし、CI-NET LiteS 実装規約 Ver.2.2　ad.0への切替後、 [1362]今回請求金額計調整額に値がセットされたデータにて、請求額の消費税額が正しくない値が発生した。そのため、上記の計算式中の“（[1103]今回迄累積請求金額計×[1004]消費税率×0.01小数点以下切捨て）”には、 [1362]今回請求金額計調整額　についても計算に含めなければならないと意見があげられた。（別紙2参照）
2. 一方で、出来高金額、請求金額の算定において、B方式を採用する3企業から、下記の理由にて、[1362]今回請求金額計調整額は0円固定の運用となるよう周知すること、および実装規約の改定が要望された。
3. 運用で回避できる（[1362]今回請求金額計調整額　を利用しないよう運用対処）。
4. 早期の対応が求められる。
5. 改訂内容
6. 出来高・請求・立替金・契約打切

・CI-NET LiteS 実装規約 Ver.2.2　ad.0（20220817）　P346

B.Ⅶ.出来高･請求･立替金･契約打切

B方式：税抜き累積額査定、税抜き当月請求額算定方式（累積支払額差引）

　（のページ番号）

変更前

----------開始----------

B方式：税抜き累積額査定、税抜き当月請求額算定方式（累積支払額差引）

◆今回分の請求金額（税抜きで算定し、最後に消費税を加算）

[1361]今回請求金額計(調整前)

[1362]今回請求金額計調整額

[1112]今回請求金額計

[1395]消費税額(調整前)

[1396]消費税額調整額

[1096]消費税額

[1097]最終帳票金額

・[1361]=[1103]-[1323]

・[1362]は[1361]に対する調整額である。値引きなどは負号を付けた金額を示す｡

・[1112]=[1361]+[1362]

・[1395]=[1112]今回請求金額計×[1004]消費税率×0.01。小数点以下切捨て。

・[1396]は条件（完成払い／打切精算／それ以外）に応じて計算方法が異なる。

----------終了----------

変更後

----------開始----------

B方式：税抜き累積額査定、税抜き当月請求額算定方式（累積支払額差引）

◆今回分の請求金額（税抜きで算定し、最後に消費税を加算）

[1361]今回請求金額計(調整前)

[1362]今回請求金額計調整額

[1112]今回請求金額計

[1395]消費税額(調整前)

[1396]消費税額調整額

[1096]消費税額

[1097]最終帳票金額

・[1361]=[1103]-[1323]

・[1362]は[1361]に対する調整額である。値引きなどは負号を付けた金額を示す｡

また、[1362]について、[1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合は、[1362]を0円固定とする。

・[1112]=[1361]+[1362]

・[1395]=[1112]今回請求金額計×[1004]消費税率×0.01。小数点以下切捨て。

・[1396]は条件（完成払い／打切精算／それ以外）に応じて計算方法が異なる。

----------終了----------

（№　L-2023-003）

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る

改訂チェックリスト

CI-NET標準ビジネスプロトコルおよびCI-NET LiteS実装規約に係る改訂に関して、下記に示す項目についてチェック（○、×）を行い、問題がある場合にはその内容および改善の方向等について「指摘事項等」の欄に記載するものとする。

|  |  |
| --- | --- |
| 審議･検討日 | 2023年10月11日 |
| 審議機関 | （委員会／WG名等を記載）  標準委員会／LiteS規約WG |

|  |  |
| --- | --- |
| 改訂内容 | （提案者、対象メッセージ、新規項目名称・摘要等を記載）  出来高金額、請求金額算定方法のB方式における[1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) における[1396]消費税額調整額の計算方法の取り扱い |

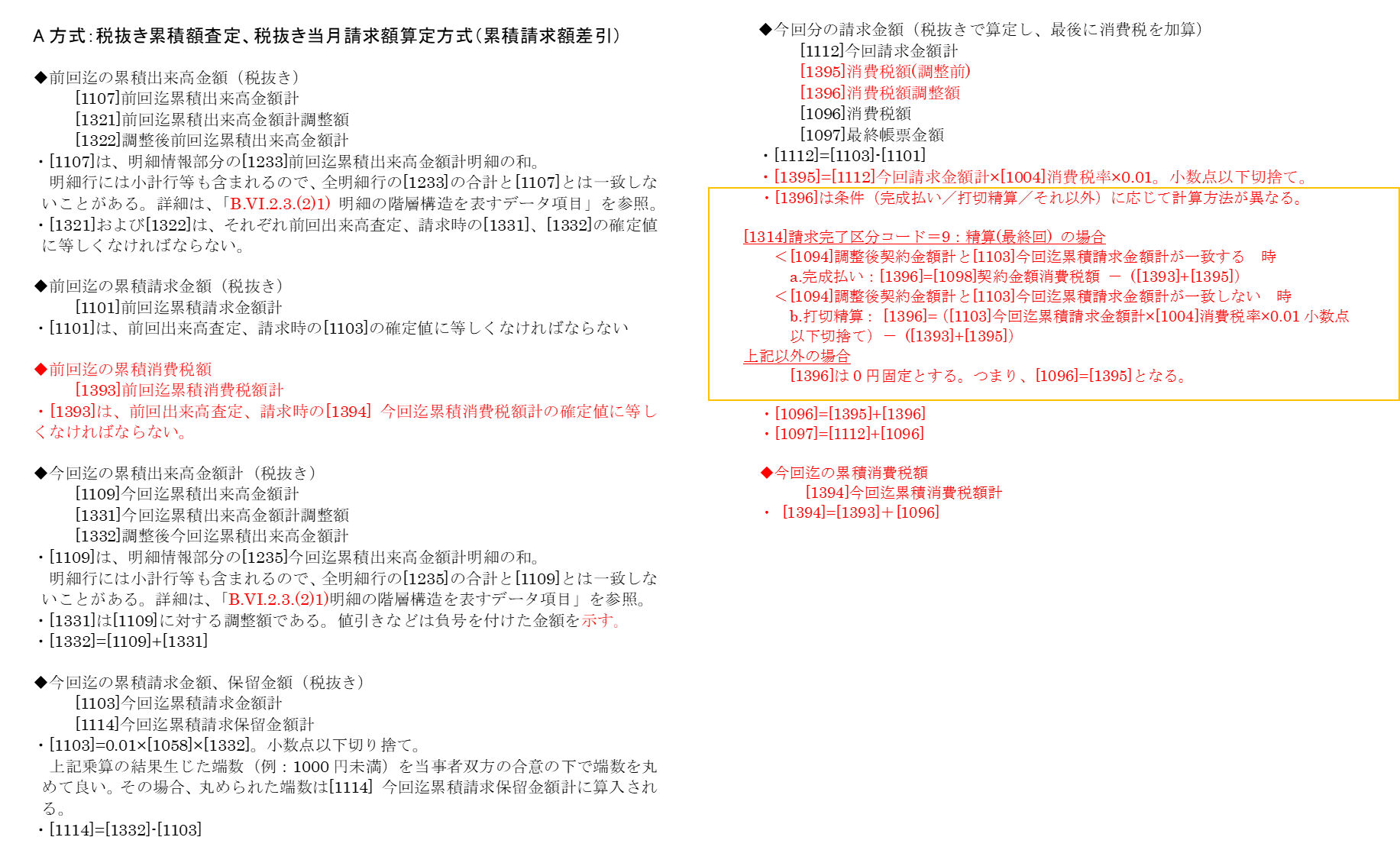
| チェック項目 | | ﾁｪｯｸ | 指摘事項等 |
| --- | --- | --- | --- |
| 1.既存ユーザへの影響度合い | ①実稼動しているシステムの改修度合 | ○ |  |
| ②業務の見直し、変更への影響度合 | △ | [1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合における[1362]今回請求金額計調整額を使用しない運用は、ほぼ実施されている。さらに徹底されるよう規約に記載する。 |
| ③いずれのユーザの負担が大きいか | ○ |  |
| ④及ぼす影響の具体的な範囲や内容が見えているか否か | ○ |  |
| ⑤即時の対応が可能か否か | ○ |  |
| ⑥立場の違いなく対応が可能か否か | ○ |  |
| 2.各社固有の業務要件か | ①他ユーザの賛同の有無 | ／ |  |
| ②業務の変更による対応可否の検討有無 | ／ |  |
| 3.印刷要件か | ①各社の帳票出力に依存する項目が否か | ／ |  |
| 4.二重要件か | ①他項目での類似機能がないか | ／ |  |
| 5.定義の明確化 | ①類似項目との違いは明確か | ○ |  |
| ②規約全体を通して定義を明確にしているか | ○ |  |
| 6.改訂の緊急度 | ①即時対応の必要性の有無 | ○ |  |

|  |  |
| --- | --- |
| 審議結果 | (単に承認／非承認だけでなく、そのような結果となった理由等も記載)  2023年度標準委員会第3回 2023/12/12にて  B方式利用企業やベンダ社より、0円固定とすることと、周知文をHPに掲載することについて、了承が得られたため、承認された。 |
| 今後の対応 | (上部審議機関への申し送り事項／差戻しの場合の再審議ポイントの提示など)  なし |

|  |
| --- |
| 【チェック欄の凡例】  ○：問題なし  △：やや問題あり／指摘事項に対する配慮があるとよい  ／：対象外／該当しない  ×：問題あり／指摘事項への対応が必要 |

別紙1：CI-NET LiteS 実装規約 Ver.2.2　ad.0　　　[1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合における計算方法

※B方式は、A方式と同じであるため省略されている。そのため、A方式を抜粋



別紙2：CI-NET LiteS 実装規約 Ver.2.2　ad.0　　　[1314]請求完了区分コード＝9：精算(最終回) の場合における計算方法

